

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1 施設名	大倉ふるさとセンター	
2 指定管理者	特定非営利活動法人グリーンライフ東北	
3 指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日	
4 施設の利用状況	《利用者数》 令和4年度 13,022人(前年度比 156.0%) 令和3年度 8,350人 令和2年度 8,964人	
	《事業》 ● 指定管理事業 34事業(開催実施 30事業) 延べ3,968人参加 ・自然を活用した野外活動体験及び研修に関する内容 ・生活文化、及び伝統文化技術の体験、展示に関する内容 ・施設PR目的の交流イベント事業 ● 自主事業 8事業(他施設との連携事業も含む) 延べ4,039人参加 ・SUPにチャレンジ新緑 ・SUPにチャレンジ初夏 ・大倉どろんこ祭 ・SUPくらんど祭 ・古民家ヨガ ・大倉子ども会夏休みダムで遊ぼう ・地場産品市 くらんど祭 ・地場産品市 軽トラック市	
5 収支の状況	《費用》 ()は前年度決算額 ・ 指定管理者に支払った費用 24,834千円 (24,580千円) ・ その他市が負担した費用 395千円 (645千円)	
	《収入》 ・ 使用料収入 652千円 (421千円) ・ その他収入 94千円 (54千円)	
6 利用者の声	《実施状況》 ・事業参加者アンケート(R4.4～R5.3に実施) ・来場者アンケート(R4.4～R5.3に実施)	

二 管理運営に係る評価 (モニタリングシートの結果によって評価)

評価分野	所見	評価
I 総則	<p>職員に対する倫理保持及び服務規律遵守を確認する取り組みや利用者に対する設置目的等の掲示について、必要最低限度の取り組みは行われているとともに、関係法令や条例は遵守されているが、今後のさらなる取り組みに期待する。</p> <p>一方、地域資源をいかした自然体験会や生活体験会、地域住民との交流促進事業を地域と連携して計画、実施している。</p>	24/24
II 施設の運営管理体制	<p>施設の管理運営は仕様書に定めたとおり行われており、職員の配置も適切である。指定管理料の執行状況についても事業毎に予算書を作成し、適切に処理されていることが確認できた。</p> <p>個人情報保護や情報セキュリティ対策については、日常のミーティングにおいて職員間で確認している。</p> <p>事故・災害への対応については、定期的に研修や訓練を実施するとともに職員の役割分担が明確にされている。</p>	30/30
III 施設・設備の維持管理	<p>施設の備品は備品管理簿に基づいて適切に保管されている。</p> <p>また、建物や設備は職員が日常的に巡回・点検しており、適切な管理がなされている。</p>	24/24
IV サービスの質の向上	<p>職員の接客マナーや受付案内は、職員間で共通の認識を持っている中で親切丁寧な案内がなされている。</p> <p>利用者への情報提供は市政日より、ホームページ、Twitterを通じて積極的に行われている。</p> <p>苦情等の対応手順は確立されているが、今後より一層のサービス向上のための取り組みが必要と考えられる。また、アンケート結果の周知をより分かりやすくするなど利用者に対する情報提供を一層行っていくとよいと考えられる。</p>	28/28
V 施設固有の基準	<p>施設の貸出や使用料の徴収について、減免処理における一部適切とは言えない事務手続きがあったが、その後適正な事後処理がなされており、おおむね適切な処理がなされている。</p> <p>事業の企画・実施については、市民ニーズをとらえ、新規の利用者を増やそうとする姿勢が見受けられる。</p>	14/14

三 評価総括

《指定管理者（特定非営利活動法人グリーンライフ東北）による自己評価》
<p>令和4年度、新型コロナウイルス感染症規制緩和の中、どのように運営を行い安全にお客様を迎えるのか、イベントの内容はどのように実施すると安心を得られるかなど考えた年でもあった。イベントの内容見直しは、常々行っているのだが、気象の関係で出来る、出来ないの差ははっきりと出た年でもあった。倍率の高いイベントについては、参加したいができないとの、声も聞かれ何か打開策を講じていかなければならないと感じた。今年度は、交流イベント「くらんど祭」を4年目にして実施にこぎつけ、施設の立地を生かした、大倉ならではのイベント内容に刷新し、たくさんの方々の御来場があった。駐車場の収容数問題など悩ましくはあるが、来場者の事故やけがにつながらないように解決をしていきたい。古民家の周知も課題はあるがひとつずつ解決出来るよう準備していきたい。地域の他団体ともっと交流が図れることを課題に次年度も精力的に事業を行っていききたい。「施設管理」については、長年のごみの処分について手配をし整理整頓を職員ひとりひとりが心がけること、駐車場の白線を整備する、古民家板塀の塗装など課題はあるのだが、ひとつずつ進めていくようにしたい。昨年施設の管理については人手不足が生じ見える箇所での整備、清掃等に限られた。次年度に残ってしまったことが多々あり、お客様の不快にならず、安心して利用していただける施設となる様さらに整備に心がけたい。</p>

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>施設・設備については、新型コロナウイルス感染症拡大防止策を施しながら日頃から来館者が快適に利用できるような環境の整備に努めており、着実に管理業務を実施し、協定書や仕様書に定める水準を確保している。</p> <p>職員の対応についても、キャンプ利用者への丁寧な説明やTwitterなどによる情報提供が利用者から好評を得ており、アンケートでは、接客マナーに関し、約9割の利用者が「良かった」と回答があることから、今後も親切丁寧な対応が期待できる。</p> <p>さらに、地域の関係団体と協力し、積極的に自然体験、生活体験をはじめとして地域の交流事業を企画・実施し、様々な学びの場を提供したことは高く評価できる。</p> <p>その一方、利用者からの意見、苦情を抽出する仕組みについて構築する必要があるとともにアンケート結果等利用者の声を公表するなど一層の情報公開に取り組む必要がある。</p>	S

四 その他特記事項（上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取組み等、特に記載すべき事項があれば記載する）

特記事項

© 評価担当課(施設所管課):教育局生涯学習部生涯学習課